

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	高齢者等への検査助成に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	6	
政策	誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	高齢者支援課			
施策	健康を支える保健・医療の充実	担当課室長	根岸 浩史			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	安全で安心できる介護施設の実現のため、実績を踏まえ対象施設の拡大を行う。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	介護施設に入所の高齢者	意図(対象をどうするのか)	高齢者に対しPCR検査を実施する
②事務事業の概要	安全で安心して過ごせる介護施設の実現のため、市内在住で市内介護施設等に入所している65歳以上の高齢者に対し、PCR検査を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	現在においてもPCR検査の有用性は認識されているが、ワクチン接種が始まることにより、将来的には縮小する可能性がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	市内の介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホームにおいて、新規入所者・既存入所者に対し、PCR検査を実施した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	対象施設数			14	施設 実績による
	ii	検査実施人数			225	人 実績による
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	0	4,301	金額(千円)	内容		0
国支出金(千円)		1,980	273	報酬		0
県支出金(千円)			15	費用弁償		0
市債その他(千円)			13	消耗品		0
一般財源(千円)		2,321	4,000	委託料		0

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	安全で安心して過ごせる介護施設を実現していくためには、継続してPCR検査を実施していく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	国等の動向や令和2年度の実績を踏まえ、対象施設等や実施方法を検証する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	社会福祉センター改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	3	○
政策	誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	高齢者支援課			
施策	いきいきとした高齢社会の形成	担当課室長	根岸 浩史			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	非常用発電機設置工事設計委託、建具改修工事、駐車場整備工事を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	非常用発電機設置工事及び建具改修工事について、設計に基づく改修工事を実施する。また、自動水洗工事の設計及び工事を実施する。
②①に基づく取組み結果	非常用発電機設置工事及び建具改修工事の設計を実施するとともに、ボイラー改修及び駐車場整備工事を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	社会福祉センター	意図(対象をどうするのか)	高齢者や要配慮者が安全・安心に利用できる施設にする。
②事務事業の概要	社会福祉センターの老朽化への対応及び福祉避難所の機能を備えた施設とするため、必要な改修を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	社会福祉センターは、建設から45年以上が経過しており、建物の老朽化が進んでいることから、必要な改修を行う必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、施設の利用を制限したため、令和2年度は利用者が大幅に減少している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	非常用発電機設置工事及び建具改修工事の設計、ボイラー改修及び駐車場整備工事を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	年間利用者数	31,350	28,463	8,003	人	業務取得
	ii	年間会館日数	290	260	195	日	業務取得
	iii	収入(施設利用料・機器使用料)	1,596	1,412	367	千円	業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	10,172	22,199	金額(千円)	内容		103,900	
国支出金(千円)	0	0	4,845	建具改修工事及び非常用発電機工事設計委託			
県支出金(千円)	3,227	0	17,354	ボイラー改修及び駐車場整備工事			
市債その他(千円)	5,500	17,200				100,200	
一般財源(千円)	1,445	4,999				3,700	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新型コロナウイルス感染症拡大の防止を図るため、施設の利用制限を行っており、令和3年度も利用者数の減少が見込まれる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	社会福祉センターの老朽化への対応及び福祉避難所の機能を備えた施設とするため、引き続き、精査・検証を続けていく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	建具改修工事設計・工事、非常用発電機設置工事設計・工事、駐車場整備工事、ボイラー改修工事						令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額								
②計画に対する事業実績	129,366	129,366	当初	28,096	22,199	R1からの繰越	0					
			R1⇒R2繰越	0								
③達成状況	未完了						補正	101,270			現年分	22,199
④未完了・非着手の理由	建具改修工事及び非常用発電機工事は年度内の完了が見込まれないことから、令和3年度に繰り越した。						流用・充当	0				
							令和3年度への繰越額(単位:千円)					